2015（平成 27）年度　課題研究題目一覧

【現職院生】

北村　歌子　かかわり合いから数学的な思考力・表現力を育む授業づくり
―「ファシリテーターの視点」と「問い返し発問」の導入―

草野　知子　複式学級の学習指導から考える自律をめざす学び

廣瀬　里美　ソーシャルスキル・トレーニング（SST）の手法を活かした国語の授業実践研究　　―自己肯定感に着眼して―

有馬　佑介　「更新していく学校づくり」のための学校評価システム開発
―組織の協働を視点として―

内山　治之　中学校の荒れを未然防止及び改善する生徒指導の具体的な取り組み

大山　章博　人と人とをつなぐ長期宿泊体験活動
―協調して生活することの大切さが実感できる体験活動の工夫と教師のかかわり―

川端　純一　教頭に求められるマネジメント力の向上
―学校内部分析指標の作成―

窪田　隆徳　区市町村立学校の特別支援教育における専門的支援の効果的運用
―学校分析とコンサルテーションを基盤とした支援システムの開発―

栗原　由紀　小学校外国語活動における HRT の英語指導力の向上
―ALT と HRT のティーム・ティーチングの関わりを通して―

後藤　勝洋　クリティカル・シンキング能力を育成するための効果的な授業法の開発
―児童が作成した情報の信頼度を基に相互評価をする活動を通して―

先﨑　達彦　学習評価と学習指導の一体化
―ミドルリーダーを軸とする協働型授業設計の在り方―

千住　希望　教育課題に対応力のある教員集団の形成
―一人一人の教員が生きがいをもち、協働する学校組織をめざして―

徳永　明子　表現運動系の指導における主体的な学びを促す手だて
―「振り返りのサイクル」を用いた「あしあと帳」の活用―

棗　まゆみ　小学校で取り組むソーシャルスキルの指導内容とカリキュラム
―「全校一斉方式」に「学級単位方式」を加える効果の検討―

野口　由博　児童のアクティブ・ラーニングを深め課題設定する力を育む方法
―体育科学習を通して―

藤垣　結髪　特別支援教育コーディネーターによる校内研修に期待される効果
―教師の行動・意識の変容を目指して―

星芝　卓郎　児童が他者と協働しながら学ぶよさを実感できる授業の実践
―対話を充実させた小学校国語科の物語教材の学習を通して―

村上　聡恵　若手教員の授業づくりを支えるコンサルテーションの実践
―ユニバーサルデザインの視点を取り入れた授業をめざして―

依田　真紀　「数と式」領域における認知特性に配慮した指導法の研究
―数学における「学びのユニバーサルデザインガイドライン」を活用した授業実践―

【学卒院生】

田原　悠莉　「言語活動の充実」を図った漢文入門期の指導

石川千恵実　中学校国語科における話し合い活動の手法選択に関する一考察
―生徒が主体となる授業づくりを目指して―

板岡　真央　学ぶ意欲を高める授業の工夫
―小学校 3 年生の「数と計算」における算数的活動の活用―

伊東　浩明　中学校英語科における生徒のコミュニケーション能力を育成する音読指導の工夫　―サイトトランスレーションを通して―

今川　和哉　思考を働かせて英語を話す外国語活動の授業づくり
―教育課程における既習事項の活用と語順指導に着目して―

岩切さゆみ　授業における生徒を惹き付ける教師の働きかけ
―世界史の授業をもとにした分析―

臼杵　真紀　文字構成課題によるひらがな書字支援の研究

黒川　翔太　問いづくりによる主体的・協働的な中学校社会科授業
―授業改善に必要な条件を明らかにする―

黄　俐嘉　「ことば」と「文化」のつながりを意識した英語学習
―英語への興味・関心を高める、教科書の活用―

小林友加里　数学への興味関心を高め、日常生活に活用しようとする生徒の育成
―日常生活と数学をつなぐ授業の構築を通して―

島津　乙華　教師の発問と児童の挙手行動の関係性についての考察

杉本　真澄　高等学校における部活動を通して自尊感情の高い生徒を育てる実践的研究　―ペップトークを活用して―

瀬川　真由　全ての生徒がわかる中学校数学の授業づくり
―インクルーシブ教育の視点を取り入れた教材・教具の開発を通して―

千田　佳史　健康的生活を営む実践的能力の育成
―科目保健における協働的学習の工夫を通して―

根岸　陽月　小学校国語科における道徳性の育成に着眼した授業づくり
―各教科での道徳教育の充実を見据えて―

野 原　惇　学校の実態に応じたアクティブ・ラーニング型の授業づくり
―実践履歴の分析を踏まえて―

松 岡　渉　知的障害特別支援学校における ASD 児への数概念の形成を図る指導
―知的障害 ASD 児の障害特性を踏まえた系統的な指導に関する事例研究―

水野　雄人　高等学校公民科における生徒の発想を生かして公民的資質の育成を目指した指導法　―現実的な課題の活用を通して―

宮崎華緒里　通常学級における発達障害等の様々な背景を持つ児童を含めた授業のあり方　―ユニバーサルデザインの視点を踏まえたワークシートの活用について―

渡邊　稚仁　生徒自身が聴き方の違いを実感するための鑑賞授業
―音楽的聴取と音楽学的聴取をもとにした授業の一構想―

渡部　仁史　自己の良さを発見し、他者のよさを認める力を育む実践研究
―学級活動を柱として―

2015（平成27）年度における主な学事・行事

月・日	主な学事・行事等
４月　１日	現職教員説明会
４月　２日	入学式、新入生オリエンテーション
４月　３日	履修・実習説明会、主指導教員との顔合わせ、 学卒２年による授業科目説明会
４月　６日	進路指導説明会
４月　７日	春学期授業開始
４月１６日	課題研究についての共通講義
４月２３日	運営会議
５月１６日	大学院説明会
５月２８日	運営会議
６月　２日	学校フィールドワーク①（グループ内の研修校）
６月　９日	学校フィールドワーク②（グループ内の研修校）
６月２３日	カリキュラムデザイン・授業研究演習Ⅰフィールドワーク （希望校別）
６月２５日	運営会議
７月　２・９・１６日	課題研究グループ別集中検討会（グループ単位による）
７月２３日	創成研修経過報告、カリキュラム評価、
７月２３日	運営会議
７月２９日	春学期授業終了
８月　１日	大学院説明会（教職大学院）
９月	１０日間連続実習
９月２４日	運営会議
１０月　２日	秋学期授業開始
１０月　８日	課題研究中間報告会①
１０月２２日	運営会議
１０月２４日～２５日	大学院入試Ａ日程
１１月２６日	運営会議
１２月　３日	課題研究中間報告会②
１２月　５日	教職大学院協会フォーラム
１２月　６日	教職大学院協会シンポジウム・ポスターセッション
１２月２４日	運営会議
１２月２８日	年末年始休業前授業終了
１月　４日	年末年始休業後授業再開
１月２８日	カリキュラム評価 運営会議
２月　８日	秋学期授業終了
２月１２日	課題研究グループ別発表会
２月１８日	運営会議
２月２０日	大学院入試Ｂ日程
３月　４日	課題研究成果報告会・巣立ちの会
３月１０日	運営協議会
３月１８日	学位記授与式
３月２４日	運営会議

『東京学芸大学教職大学院年報』刊行規定

第１条　東京学芸大学教職大学院は、『東京学芸大学教職大学院年報』（以下、「年報」という）を年１回刊行する。
第２条　年報の編集は、運営会議の議を経て、教職大学院長が任命した編集委員５名によって構成する編集委員会によって行う。
第３条　年報は、研究論文、実践研究論文、教職大学院における授業実践報告、課題研究の報告、同窓会からの報告などで構成する。
第４条　投稿者の資格は、原則として教職大学院の教員、修了生、大学院学生、編集委員会が認めた者とする。
第５条　論文等の掲載の可否は編集委員会の審査によって決定する。
第６条　年報に掲載された論文等の著作権は教職大学院に帰属する。
第７条　年報に掲載された論文等は、web 上に無償で公開するものとする。
第８条　この規定の改廃は、運営会議の議を経て行う。

『東京学芸大学教職大学院年報』投稿規定

1. 投稿できる原稿は未刊行のものに限る。
2. 投稿を希望する者は、4 月 30 日までに編集委員会に対し、投稿申込票により申し込むこと。メールによる申し込みも可とする。
3. 投稿申込票を受理された者は、9 月 30 日までに、完成原稿 2 部と電子媒体を提出すること。
4. 投稿論文等は返却しない。
5. 投稿申込票及び投稿論文等は、以下の宛先に送付すること。

〒184-8501　東京都小金井市貫井北町 4－1－1
東京学芸大学教職大学院永田繁雄研究室気付
教職大学院年報編集委員会
メールアドレス：nagata@u-gakugei.ac.jp

『東京学芸大学教職大学院年報』執筆要項

1. A4 判用紙を縦位置で使用し、横書きとする。
2. 40 字×40 行を 1 ページとする。投稿原稿は 12 ページ以内とする（図表、注、参考文献を含む)。
3. 余白は上下左右とも 35mm、ポイントは 10.5 とする。フォントはＭＳ明朝体とする。
4. 最初のページにタイトル、氏名、所属を記す。本文は 5 行目から始める。
5. 英文の単語を始め、英文および数字は原則として半角入力で行う。
6. 文献の記載については、著者名、書名又は論文名（掲載誌名を明記)、出版社、西暦年号、ページの順で示す。
7. 引用・文献注は、本文と同じ書式で作成し、自動脚注を使用しないこと。
8. インターネットによる資料の注には、URL とともに最終アクセス日を記すこと。
9. 写真や図版の掲載については、執筆者に実費を求めることがある。

東京学芸大学教職大学院年報　第５集

2017（平成 29）年 3 月 17 日　発行

発行者：東京学芸大学教職大学院

〒184-8501　東京都小金井市貫井北町 4-1-1

電話　042-329-7707

印刷所：サンプロセス

〒207-0012　東京都東大和市新堀 1-1435-29

電話　042-561-8810